車發着

金州發 三十里堡着 普蘭店發　後
大石橋發 蓋平着 海城發　前
新臺子發 石嶺子着 鐵嶺發
新臺子發 鐵嶺發着 開原發　前 後
海城發 鞍山站着 遼陽發
普蘭店發 瓦房店着 得利寺發

大連旅順間 下り 大連發前一一時〇〇分 後八時〇〇分
旅順線 營城子發 長嶺子着 旅順發
大石橋 營口線 下り 蘇家屯發
注意 一乘車驛より南關嶺南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同線各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者

# 滿洲日報

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　漢口　天津
北京　大連　旅順　奉天　遼陽
芝罘　鐵嶺　安東縣

(電話十番支配人室)(百八番事務室)

**横濱正金銀行 牛莊支店**

營業項目

一定期預金(長期存款) 三ヶ月 五分　六ヶ月 按年五分五厘　一ヶ年 六分
一當座預金(暫存款) 按年 四分五厘　日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金(零碎暫存款) 按年五分一厘　日步一錢四厘
一送金爲換取組先(滙兌) 東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利) 一般財産並に土地建物の管理を引受くること 不動産抵當貸附金の委託を引受くると

軍政署認可

一附帶ノ業務

**正隆銀行**

本行受入の軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

營口西北街第二百三十號(日本人會西隣)
支配人 深水十八(電話二百十番)

本紙代價
一枚 四錢
一ヶ月前金 八十錢
一ヶ年全 九圓六十錢
郵税無料

廣告料
五號活字十九字詰一行 一回二十錢
四號活字十四字詰一行 一回三十錢
二號活字九字詰一行 一回四十錢

本報價目
一張 四分
一ヶ月 八角
一年 九元六角

告白例
一行五號十九字 毎日毎行二角 登十日者
毎日毎行一角五分 登一月者
毎日毎行一角 登長年者
價目面議

清國營口中盛街(電話二九番) 滿洲日報社

**三井**

電話 第六十六号 第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候(電話百二十八号)

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、上海、香港、新加坡、倫敦、孟買、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

廣告

大日本帝國軍艦昨日入港す軍艦を觀覽せんと欲するものは東税關濱棧橋に來れ小蒸滊船河風號を以てシャンパンの業をなし切符を發賣す切符の往復廿錢

啓者大日本帝國軍艦沖島壹岐等大小艦艇十數隻於昨日進口停泊西歷本月十四號十五號兩日(上午九點鐘起至十一點鐘下午十二點鐘起至三點鐘)概許觀覽因之本公司擬特艤小輪船河風號於東鈔關前以資觀覽該艦船艇之便利水脚每一人銀洋二角切望欲觀覽者勿誤時機致貽後悔此佈

賃銀

| 自＼至 | 河北 | 西税關 | 東税關 |
|---|---|---|---|
| 牛家屯 | 三十錢 | 三十錢 | 二十錢 |
| 東税關 | 二十錢 | 二十錢 | |
| 西税關 | 十錢 | | |

本公司は牛家屯東税關西税關河北間に小蒸滊船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應す
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東税關棧橋西税關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す
數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)

東税關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡す
仝午前六時發 河北七時發列車に連絡す
東税關午後七時發 牛家屯九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時四十分發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

**東省巡航公司**
營口元神廟街第五十五號
電話番號二百三十六番

**日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告**

●營口丸 十六日午前九時 太沽、芝罘、門司神戸行

大連出帆
●横濱丸 廿三日午后二時 門司神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行(電話二六番)

**大阪商船株式會社 營口汽船出帆廣告**

●盛航丸 八月十六日 門司行

東營口公園地横(電話二十三番)
代理店 ブラツニ兄弟商會 遠來洋行

**瀛船出帆廣告**

●萬成源丸 十五日天津行
●日勝丸 仝 厦門行
●中國丸 十七日門司神戸行

松茂洋行船舶部
海岸東税關西 電話(五二)(五七)

朝日ビール、石炭、白鹿(日本酒)白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧請駕臨
**松茂洋行商品部**(電話五二番)

**宅洋行**

啓者敝行專賣綿紗粗布緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番)(住所五五番)

**東盛和**

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤紙貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜象置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人 葉亮卿謹白

**東永茂**

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

**西義順**

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

**仁裕號**

保裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅
營口西大廟街路北警乙第十三號

**永順洋行**

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色信亦格外公道官商光顧請到本行面議
北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

**日本官造紙煙專售告白**

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙 朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)娼嫣咧(軍旗牌)隆佑來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳天巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代代木公司) 日本官煙營口專賣處

**SP 糸平公司**

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品皆美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街元神廟南邊路西(電話百九十二號)
朝日ビール特約大販賣

**志岐組**

本組開設營口糸定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

**三井洋行啓**

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

**洋行** 電話 第六十六号 第九十一号

**洋鐵鋼**

麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店
安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

**精乳軒牛乳販賣所**

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九 電話三番

**遼河鐵道 裕和盛運輸局**(電話八十一号)

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎城設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲謹
運輸部主任 高濱麟太郎啓

**徽州 怡昌祥茶號**

本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙種名茶色香味與衆不同加工揀焙重習徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大賓號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

**志岐組木料棧 材料出售**

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議願請到本棧

**上海 中井洋行** 專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡製關紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗等草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨具他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

**丸重轉運行**

啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街(電話十八號)
既設分局 牛家屯車站(電話四十六號) 遼陽、奉天、昌圖各車站

**關東玻璃公司**

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街 第五號門牌便是

**銃砲火藥販賣業**

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀清洋行 鐵嶺東門大街

**齒科治療廣告**

啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善本齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

遼陽州官設醫院 告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願錫免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一毎逢慶節及禮拜日一概休辦

DENTIST. Dr. S. KOJIMA.
**牙大夫學士兒島醫院**
大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員 ●營口元神廟街●

告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居開院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術齲齒金銀充填補缺落齒補入妙技矣白齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉執事
●來訪者兒島二字要注意曰語

雜報

●勲功記御親書　天皇陛下には暑中をも御厭ひなく毎日午前九時より御學問所に出御午後五時頃に至り入御遊はされ時には六七時にも及はさせらるゝことさへあり去る五日の如き日曜日と雖とも平日の通りなるか此頃は戰死者又は戰功者に對する勲記功記に御親書あらせらるゝこと非常に多數にして入御の後も筆硯を召し給ふ程にて侍醫より御注意申上くること度々なりと元來勲記は三等以上功記は五級以上に御親書遊はさるゝことゝて其の數實に數萬通の多きに及ひ或は御親書に換ゆる方法を詮議しては如何との議ありたるも陛下には功臣を重んじ給ふ御志深く御略式を採らせ給はす近侍の輩孰れも恐懼し居れりと承はる

●露國動亂の眞相　露國政府は目下の國情に就き嚴秘主義を取り新聞通信に對する取締を嚴重ならしめしため其の眞相の國外に漏るゝもの稀れに各國公使館と雖も又た之を知るに苦るしめる程なるが信憑すべき筋にて日々接手しつゝある情報により判斷する處に據れは露國動亂の程度は頗る猛烈なるべき叛徒の計畫は當初より適當の順序あらさるため漸次失敗を招き居るが如く而して政府は從來の專制主義に基き絶對的に農民を鎭壓するの精神無く能ふべくんは彼等の要求の幾部分を採擇して局面の轉換を計らん希望を懐抱し居り随て動亂のため外交上の障礙を來たすこと至く無し又た數日前露帝蒙塵の外報到りしも其筋に達せす報によれは事實無根にして露帝は依然として帝都に在りと云ふ

●鐵道守備隊區域　南滿洲鐵道守備隊の駐剳地は北京談判に依て沿線十清里以内と決し其以外は清國軍隊の駐防地とし随て守備隊の行動も可成十清里内に於てし清國軍隊との間に事項を生せさるを期したるか今回馬賊襲來の結果により沿線十里外の要地にも駐兵の必要を感し且つ其行動には別段區域を有せす時宜に依ては巣窟に向て攻撃を加ふることもある可しと云ふ

●癈兵院收容者　癈兵院條例は此程愈々發表せられたるが該院に收容すべき癈兵とは一、兩眼を盲し若しくは二肢以上を失ひたる者二、一肢を失ひ若くは二肢の用を失ひたる者三、一眼を盲し若くは一肢の用を失ひたる者及ひ以上三項の一に準すへき傷痍を受け若くは疾病に罹りたる者にして資産又は扶助者なき爲め特に救助を要すへき者の中本人の希望により收容する筈にて其収容人員は約一萬人内外なりといふ

●獨逸の新操典　日露戰役中兩軍の行動を仔細に觀察し其の實驗に基きて獨逸か歩兵操典を始め各兵科の操典を改正したる事は嘗て報道せられし所なるか新操典は此の程我が參謀本部にも到着せる由なり曾て日本陸軍の師範たりし獨逸か日露戰役の實驗に照して其の操典を變改するの一事は我が陸軍の歷史より見て頗る興味ある事實と謂ふべし

●外交官の異動　内田康哉氏は墺匈國に稻垣滿次郎氏は西班牙國に佐藤愛麿氏は和蘭國に銘々公使として内定せられ英國大使館參事官には天津總領事伊集院彦吉氏近々歸朝の上赴任し香港領事野間政一氏の後任には在米大使館外交官補窪田文三氏に内定すへく故杉村公使、稻垣公使の後任は其内決定すへく其他領事の中猶は多少の異動を見るへしと云ふ

●マカロフ號引揚　露國新造巡洋艦にして旅順に戰歿せる提督マカロフ將軍の名を取つて命名せるアドミラル、マカロフ號は佛國アルミ軍港なるターシン造船所に於て建造せられ此程試運轉を行ひたるに忽ちにして浸水し六分間を出てさるに沈沒し十五名の輕傷者を出せるか同艦は目下引揚け工事に着手し居れりと

●商工事務官派遣計畫　己報の如く農商務省に於ては商工事務官を海外に派遣せんと審議中なりしか同省にては今回愈よ實行に決し英、米、獨、佛、露、清の六個國に約十名を分派せん計畫成れりと

●昨今の氣候と作向　本年の氣候は作物の方にて時々時ゝ風雨あると虫押へとか稻の發育を助くる譯にて此分ならんには九州を第一に四國中國之れに亞ぎ本州中部と關東と東北と又た之れに亞ぐべしといふ

●後藤男の後任　既電の如く臺灣總督府民政長官後藤新平男か愈々滿鐵總裁たるに於ては現總督府總務局長祝辰己氏代つて其の後任者たるへしといふ

●鉄道受領跟隨雜記(承前)　特派員

▲寛城子の概況　寛城子停車場には停車場附屬の家屋三十戸許あり其附近に露人の料理店雜貨店など多く開かる停車場より十清里南東に當りて寛城子の市あり市内に露清兩行あり露國商人は支那人と伍して其間に店舗を設け支那人の店舗亦多く露文を以て商號を現はし市中の光景既に全く露化せるを見る

▲寛城子の將來　同地は吉林方面の需要に對する百貨通過の咽喉に當るを以て營口に於ける大舖子樣の問屋多く軒々相屬して最も商業の繁榮を見るに足れり將來日本にして南滿鐵道の經營を完成し吉長鉄道亦竣成するに至らば寛城子は實に北方第一の好市場と爲るに至らんとす況んや北西には蒙古との關係を有して北には哈爾賓の得意先を有し大豆豆粕は固より毛皮類藥品材料葉煙草等の輸出品は皆此地を通過するに於てをや其將來以て卜するに足る・

▲彼我の委員長　我鉄道受領委員長は三回とも中村少將なりしが露國側に在りては第一第二の兩次はドウイツテ氏委員長たりしも第三次に至りサーヘロフ氏之に代れりサ氏は戰役中哈爾賓に在りて兵站監及び輸送の事務を執り居れる者前委員長は率直にして古英雄の姿あり新委員長は洒脱にして外交官の風あり從つて駈引應答も自ら趣を異にせるが三回とも非常の善意を以て商議を進行し受領上少からざる便益を得たるは一行の深く好意を多とする所同時に我委員長中村少將は極めて寡默なれども一たび口を開けば言々肯綮に中り人の肺腑を剔ぐる加ふるに容貌魁偉威風堂々犯すべからず武人にして能く折衝の任を果せる其人以て欽仰に堪へたりとすべし

▲長春以北の運賃　露國が浦塩斯徳繁榮策として長春哈爾賓間の運賃を五倍にしたるとは中外新紙の等しく傳ふる所なりしを以て予は今回長春に到れるを機會とし露國通譯を經て此事を糺したるに兩地間の運賃の戰前に比し約倍加せるとは事實なるも之を五倍したるが如きは曾て之れ無く多少運賃の引揚げられしを見て或は誇大に報道せられしに非ざるかとなり附記して以て世人の參考に供す(完)

●遼陽六二聯隊軍旗祭(承前)

▲模擬店　は數ヶ所入口は兵士の假裝美人孰れも粉黛美裝店頭に翰旗して客を索き九日は異物の紹袒美人の愛嬌よく顧客を招き始終店前に賑盛を呈したり

▲紹袒の餘興ヲ踊　次日の九日は在遼陽藝妓連出演して觀客を聚め拍手喝采湧くか如く八日の兵士連の餘興として充分なる人氣を呼びぬ

▲造り物　巧妙　聯隊本部の達磨大師二中隊の名和長年三中隊の兵卒沿ノ形四中隊の首尾鯛ゝ月五中隊の兒島高徳六中隊の太田道灌七中隊の楠正成桃太郎に軍人九中隊の村上彦四郎十中隊の死は鴻毛よりも輕く義は山嶽よりも重し二大隊本部の大提灯等咄嗟の間に巧妙を極めたる造物を造出したる兵士の勞多とすべく就中三中隊製作に係る兵卒活人形は模擬店境界の出入口その側に直立し通過者のある毎自働的擧手の敬禮を施す所は最も感興を與へ衆皆嶄新なる趣向と巧妙なる其技作に驚かざるなかりき

▲祝場　光景及雜觀　喇嘛公園祝場の入口には大綠門を設けられ彩旗は縱橫無盡に懸りて翻々として興を添へ喇嘛の高塔は高く瑞雲に包まれたらん如くに兩日の光景は非常の壯快を呈する輕便臺車は悉く彩旗を吊りて當日を祝し尚藝陽亭丸山館は屋臺を出して出演せる紅裙嗷太鼓を以て練り歩く煙火は宙に始終轟く殷々絶間なく眞に近來の擧事として無二の盛況を呈したり

▲軍旗祭歌　這は是當日餘興の囃に供されたるもの軍曹の戰龍氏が作に係れる者なり

喇嘛塔附近を見渡せば、あれは六十二聯隊、堂々五尺の丈夫が、集合せしは何故ぞ、今日は八月八日ぞ、旗軍拜授の紀念日ぞ、祝へや祝へ諸共に、天地に轟くばかりに祝へかし、待たれよしばし待てしばし、朝事變のある時は、彈丸雨飛の其中で功を烟の中に樹て、勝ち鬨揚るはまのあたり、榮譽の勳章胸間に、歸る姿は古郷の錦　(をはり)

●艦上の伏見若宮　伏見少佐宮殿下が今回來航せる第二艦隊中に御乘艦あらせらるゝも官民の煩と他將卒の遠慮とを思召され御上陸あらせられさる仁慈の御意は昨紙已に拜記せる所なるか今又同艦隊乘組將校に就て宮殿下御勤勞の一端を漏れ承はるに殿下には尚少佐にましますの爲め副長心得として浪速艦に御乘艦在らせらるゝが一艦中に在りて副長の任務は最も繁忙なれば他の將卒に先ち朝四時半には必す御起床副長の職務を執らせられ他將校と勞苦を共にして毫も御疲勞の事なく其起臥飲食に至る迄是れ又他將校と何等の差別なく日々簡素なる御生活を送らせられ夜は大抵九時に御就寢遊はさるゝ趣金枝玉葉の御身を以てして無趣味なる船艦上の御生活さへ既に尋常の事にあらさるに精勵以て全艦隊の範を爲させ給ふこと斯の如し聞くだに恐れ多き次第と申すべし

●昨日の司令長官　一昨夜軍政署官舍に宿泊せられたる出羽司令長官は午前中單獨にて馬車を市中に驅られたるを見受けたるが午後は與倉軍政官と共牛家屯に赴かれ停車場附近を觀覽し歸途市中に[illegible]りて其經營の説明を軍政官より聞き取られ再び官舍に歸られたるが晩は在留邦民の發起に係る官民歡迎會に臨まれたり

●本日の拜觀者　此次我第二艦隊の來航は營口あつて以來始めての事なるのみならず戰勝記念軍艦たる壹岐沖の嶋さへ加はりて來航せる事なれは武勳赫々たる帝國海軍の軍艦を拜觀すると共に日露戰役の好記念品を見舞ふへく在留内外人の拜觀を希望するもの頗る多かるへきを以て東省巡航公司は特に本日午前八時小蒸滊船を東稅關波止波前に艤し拜觀者の便に供し又大淸通商公司は滊船松浦丸を太古碼頭下手に艤し拜觀者を載せて午前七時出帆したり倘領事館稅關側に於ても各々汽船を艤して拜觀に赴きたりといふ

●初日の大坂相撲　昨十三日の大坂相撲は初日に拘らず大人氣にて見物人開場……

本日(三日目)の取組
照山　八幡山
友碇　白藤
玉の森　鷺ケ濱
鶴ケ嶽　手柄山
猪王山　小松山

●遼陽の公衆小包郵便　遼陽にては戰後未た公衆小包郵便發送の便開けす在住邦民の不便一方ならす一日も早く其開始を期待せるが今或る筋より聞く所に依れば公衆小包郵便は來月一日より愈々取扱を開始するに至るへしといふ

●營口の屠獸現況　支那人は元來大陸人種にして亦牛は肉食人種なるも生活狀態の低き爲め差したる事はなきものゝ如し今當地屠獸場の八月初旬間に於ける屠獸數を例示すれは左の如し

牛二十五頭　羊四百八十五頭　馬三頭
豚六百四十三頭　騾三頭　驢馬三頭

なり故に賣れ行きも豚か第一位にして羊牛之れに次き馬に至ては貧困の苦力社界に多少の需用あるのみ而して賣價は牛肉一斤二十五錢、羊肉が三十錢、豚肉は二十錢位なりと云ふ馬肉に至ては殆んと確實の相場なき有樣なり

●奉天の同攻會　奉天に於ては支那事情研究の目的を以て有志者間に同攻會なるものを組織し毎月一回例會を開くことと爲れるが去る九日同地金城館にて第一會を開きしに會員總數五十一名中出席者二十一名に過ぎざりしも相互に智識の交換を爲し各自大に爲る所ありしといふ倘今回朝日新聞社の唱導に係るロセッタ丸觀光旅客に對しては同會の名を以て同一行に對し十三日に歡迎會を開きたりといふ

●戰死墓標と居留民　戰場に於ける病戰死者の遺骸は其筋に於て已に鄭重に改葬せられある次第なるが中には戰友の厚意よりして特に墓標を作り置き所謂滿洲の地に尠からず一例を擧へれば遼陽城外天嶮嶺等の如し是等は例とへ改葬しあるにせよ可惜有爲の壯士が骨を異域に埋めたるの標しなれは中元に間近き今日に於てかたみに殘る石碑になるは同胞として聊か全情に堪へず各地居留民は此の際多少の意を用ゐて中元の手向け位なしては如何と某氏は語れり

●宮崎縣學生の歡迎會　在營口宮崎縣人二十名は一昨十三日修學旅行として來營したる同縣學生職員一同を實學院に招待して茶菓の饗應をなし長途の勞を慰したり席上同の希望によりて上野、橫山、小田原、濱田、兒玉諸氏の教育、衛生、商業及社交に關する談話あり終て紀念の爲め一同撮影せりと

●輕鐵と箱臺車　當地輕便レールに旅客用として箱臺車の新設せられたる爲め雨天の時杯に於ける旅客は大に其恩典を受け居る次第なるが惜しむらくは其上部の明り取り窓に裝箱したる硝子の薄き爲め震動の爲め破損する事少なからず何とか適當の改良を望むとなり

●平井氏の追悼法會　再昨夜午後七時より本願寺出張所に於て過日當地に客死せる半骨平井半次郎氏の爲め知友相會して追悼法會を營み寺本布教使の讀經參會者の燒香あり極めて鄭重の法會なりき午後十時頃散會

●營口現在戸口數　七月三十一日の統計に依れは左の如し

| | | | |
|---|---|---|---|
| 旅館 | 二六 | 料理店 | 七五 |
| 下宿屋 | 四 | 洗濯業 | 一七 |
| 飲食店 | 四四 | 裁縫業 | 二八 |
| 藝妓 | 一一三 | 海産物商 | 四 |
| 下婢 | 三九四 | 理髪業 | 一五 |
| 雜貨店 | 二二六 | 女髪結 | 二二 |
| 土木建築 | 二一 | 藥屋 | 二八 |
| 材木商 | 二一 | 藥種商 | 三〇 |
| 火葬屋 | 一 | 代書 | 四 |
| 米穀肥料商 | 九 | 石鹸蠟燭製造 | 四 |
| 遊戲業 | 三 | 薪炭商 | 七 |
| 水屋 | 二一 | 菓子製造 | 六八 |
| 琴三味賣 | 四 | 肉野菜魚商 | 二八 |
| 綿商 | 二 | ラムネ屋 | 二 |
| 精糖業 | 一 | 船舶取扱店 | 五二 |
| 氷屋 | 一五 | 海陸輸送業 | 五二 |
| 豆腐屋 | 三 | 税關代辨 | 四 |
| 醫師 | 五 | 輸出入貿易 | 三三 |
| 齒科醫 | 一 | 入齒師 | 二 |
| 按摩 | 七 | 鍛冶屋 | 三 |
| 產婆 | 二 | 大工 | 六 |
| 洋醬油 | 三一 | 提燈屋 | 一 |
| 味噌漬物 | 三一 | 自轉車屋 | 二 |
| 煙草店 | 八 | ペンキ塗 | 二 |
| 時計商 | 九 | 肥料製造 | 二 |
| 印刷彫刻 | 五 | 擂鉢製造 | 二 |
| 古物商 | 一一 | 鞄製造 | 二 |
| 質屋 | 一一 | 烟管製造 | 二 |
| 度量衡 | 一 | 人力馬車 | 一 |
| [illegible]業 | 一 | 書籍店 | 二 |
| 硝子陶器 | 七 | 疊屋 | 一 |
| 井戸掘 | 四 | 金物商 | 一 |
| 武刀細工 | 四 | 營口日報社 | 一 |
| 金銀細工 | 一 | 電信社 | 一 |
| 寫眞 | 五 | 共濟會社 | 一 |
| 倉庫業 | 二 | 銀行 | 二 |
| 湯屋 | 九 | 人夫請負 | 二 |
| 飲水販賣 | 九 | 鉢硝子藥販賣 | 五 |
| 鍍金輸送屋 | 一四 | 滊船輸送 | 二六 |
| 漢藥兵器賣買 | 四 | 食鹽販賣 | 一 |
| 牛乳屋 | 一 | 小間物屋 | 五 |
| 僧侶 | 一 | 滿洲日報社 | 一 |

戸數合計千四十四戸
人員計七千八十七人
内男子五千百十一人
女子千九百七十六人

●滊船彙報

▲滊船日勝丸は昨日午前七時太沽を經て入港せり
▲同松浦丸同九時半天津より入港せり
▲同牛莊丸は同十時ランカオより入港せり
▲外國船サルバーグは昨日午前八時半芝罘へ同ヘヤデースは同十時五十五分門司へ同住吉丸は同十一時十分門司へ同宜昌号は同十一時半ロンカオへ向け何れも出帆せり

●一往一來

▲渡邊旅團長　一昨々日來營せる同旅團長は鎌田副官と共に一昨日大石橋へ歸任せられたり
▲米山陸軍教授　滯在中の陸軍教授米山久作氏外二名は一昨晩遼陽に向け出發せり
▲菅沼家永兩大尉　海軍大尉菅沼周次郎氏は一昨晩南滿鐵道より同家永直種氏は天津より來營金城館に投宿せり
▲倉田敬三氏　西稅關なる同氏は明十六日早朝牛家屯發の滊車にて歸朝の途に上る由にて約四週間後には歸任の筈なり

●目睹自聞

▲中尾少將は其態度洒々落々として諄々と說き去り說き來られし要領を摘めば▲日本人の體格は之を歐米人に比べると實に小さい丈が口惜しい大連で獨乙の軍艦フォルストビスマーク號が入港して居て之を訪問すると全て赤兒が大人の前に出たようであつた殊に大連防備隊の長官大澤少將は至つて小さい方で我輩の胸迄しかないので彼の獨逸士官との對照が實に奇體であつた▲僕が日露戰役の終局前に彼の臺灣丸、八幡丸、香港丸等の假裝巡洋艦を率ひて北部樺太の沿岸を一週して到る處に露文を以て記したる我軍占領の標札を建てたのだが當時非常に霧の多い期節で航海に少からぬ困難を感じたが建て了つてやつとの事にコルサコーフに歸航する▲樺太半部返上のとに定まつて了つたので骨折損の草臥儲け斯樣な馬鹿を見たとはなかつたアヘヽヽ▲當艦隊中現に浪速の副長たる職務に渡らせらるゝ伏見若宮殿下は世人の普く知る如く日露戰役中に於ても天晴れ御勇戰在せられて畏多くも胃部に御負傷あらせられ朝野の耳目を聳動したのであつたが幸に程なく御快癒遊はされ當艦隊中に加はされて日々精勵遊はすのは何より喜はしい次第である▲當艦隊は今年の初春に内地を出發した切り一度も歸航しない其靜止のときは常に韓國鎭海灣に碇泊して居る▲鎭海灣か艦隊碇泊地として最良港たることは今更喋々する迄もないのであるが只周圍の陸地は畠と韓人の家屋が點在する許りで兵士を上陸させて休養させる譯に往かない一度やつて見たが皆二三時間位して歸つて來た風紀の取締上から謂へば簡樣な場所も妙であるテ▲只二將官共に日露戰役中に於けるその赫々たる勳功に對して餘り多く語られなかつたのは少しく遺憾ながら兩氏性格の床しさ一倍の感がした

文苑

●遼河晩望　小樽情仙
池邊子々化如兵。飛向檐前幾陣聲。
驚破美人紗帳夢。似聞四面楚歌聲。

●蚊陣　同上
夕陽影裡水茫々。回首風煙更異鄕。
遠岳似屏河似帶。晩霞鎖處是遼陽。

自八日午後六時至九日午後六時

物の價

穀物相場(五日)　兩 錢
青豆　一石　七、〇四
黄豆　仝　六、〇九

綿布相場　兩 錢
大鹿　一疋　四、〇八八

異馬　兩 錢
老人馬　一疋　四、〇六六
金童鼻布　仝　六、〇〇〇
[illegible]　仝　五、〇〇五

九龍　兩 錢
彩美人　一細　七五、〇七
人担茶　仝　七四、〇〇五
[illegible]　仝　七四、〇〇五

内地向　兩 錢
上海向　一〇二、
天津向　七一兩〇五
芝罘向　一〇三圓五〇

軍票　百圓
銀　百

## 小説 市松格子(二)

ふみを

茲小田原を湯本へ通る町外れ、家並はなれた一軒立の小靜寂とした門造り、天高からば近く箱根の山や見えん前にうくる畑を隔てた小流の水漲つていづれを道とも分かぬまで早降濺いだ雨に濡色見せた枳殻の袖垣をさへ賴る力ともよろめき倚て僅に差出した門の屋根をばせめてもの雨宿とや、二十ばかりの美しき女の、をぞましや、髪振亂し裾もあらはに血に染みしとも見ば見ゆる紅の蹴出して我身一つさへ立つてる瀨もなく吻と吐いた息の下。「よく降るわ、モ寧の事この軀を解流して了へば可のに……。」雨手に胷をかき抱いて我と身を煩ひたが、「くツ口惜しいッ」と門の柱に身を押付けた。「おや〳〵恁なさいましたの、お召物も何もびしよ〳〵ぢやございませんか」と、其時出て來たお吉に聲をかけられて何も云はず差俯向く姿、さなきだに落ちた肩の張寂しう濡れしよびれて着物は肌に吸ひついたやう。おつと見やつたお吉は氣の毒やら、可愛らしいやら、若い方のと思つて「お入んなすつて少し止せなさいましたら如何です。そのお召物ではお毒でございますよ、ねえあなた、」門を入つて横手に園つた車井のかげに身をよせて甲斐々々しく年寄は年寄だけの言葉なり。「はい、難有うございます。」と一寸險のある目を側めて天を打見やつたが「どうもあまり降りますものですから一寸お門前を拜借いたしました。」

「ひどい降りでございますね、嘸まあ、お困りでございませう、あのほんとに一寸もお遠慮はございませんのですから汚うございますけれどもお入んなすつたら如何でございます、そこでは何にもなりはいたしませんですよ、はら、屋根の雫でお袖がびつしよりぢやございませんか。」

手をとつて引き入れんばかりに急るのを

「いいえもう、茲で澤山でございます、もうどうせ、こんなに濡れたんですものいま更厭ふのぢやありませんが。矢張りそこが凡夫とか申すのでせうね、濡れた中からでも……。」と身を窄めて顏も得上げず、打悄らしき樣を兎見角見。

「えゝえ、お尤もでございますとも。那麼事をして被居つてはお毒でございますから兎に角お入んなさいましたら如何です。」

「え、難有う。」と唯答へるばかり入らう共せぬ。

「婆や、誰。……」

道子は玄關から姿をあらはした

「あらまあ、貴娘濡れるぢやございませんか、家内へお入んなさいましな。婆や、お前もまた氣が利かないね……。」

「いいえ、今左樣申してゐる所でございますけれど。あなた、あなた、お入んなさいましよ。奥樣もあゝ仰つて下さるんですから。あなたが早く私の申すことをお聞きなさらないもんだから奥樣にお小言を頂いたぢやございませんか、ホゝゝゝ。」

自分ばかり大笑ひ。

「ね、あなた、左樣なさいまし。そこね往つしやるつたつてこの雨に歩けるものぢやございませんから。」

「はい難有うぞんじます、それでももう少ししましたら小降にもなりませう……。」

「何してあなた、中々止みつてはありませんよ……。」と道子も共に下り立つて勸める刹那、橫しぶきに颯とおろし來る箱根あらし思はずも身をかへしてつと入りながら、「あれッ」とばかり。跡は車軸の一文字。

## 雜報

●天草會の美擧　奉天花柳界中にある天草會は既記せし如く漸時盛大に赴きつゝ其事業の美はしき數ある中にも先日は會員なる一人者の大工が病氣重しと聞き會員中より五十圓以上の義捐金をなし病中の手當は云ふまでもなく死亡後も盛大なる葬式を營み且は內地遺族に滿足を興えん爲同會の紀念として葬式の實況を撮影し內地に送りたりと人情紙の如き滿洲にて實に稀らしき美擧と云ふへし

●遼陽の純西洋料理屋　久しく休業の爲めに其名を閑却され居たる遼陽北門外の來々亭は此度城內元日本人會跡家屋へ移轉し純粹の西洋料理一式を以て再び開業し此程披露祝宴を催ふしたるがコツクは曩に將官宿舍の庖厨を掌り斯道の腕利にて多年歐米にありし經歷さへある專職業とて好評を傳へ諸器具等は悉く新調し其設備遼陽に惜しき程完備しあれは村井弦齋の喰道樂にあらねと美啖家の滿足を買ふへく且つ婦人客らずのボーイが幹旋は反て紳士の會食に適し尚ほ仕出しの需に應する由なれは頗る便利なる事と云ふべし

●女房の薄情有金の持逃げ　人情紙の如き薄き當世には能くある事なれど一家夫婦同樣の間柄にも拘らず他人のそれよりも一層薄情沙汰の咄は永世街二本町常盤溫泉裏手の淸人專賣の料理店海陸館キ某といへるは正木シゲとて滿韓を股に懸けて淫賣渡世をなせる阿婆摺女と何時しか關係を結び今は內緣の妻として夫婦世帶を持ち居りしが野合夫婦の本性違はず常に燒餅喧嘩の絕え間なく現に過ぐる此間も些々たる言葉の端からスツタ、モンダの大喧嘩を始めたりしが折能く其日は料理店組合の會議のある日とて亭主は喧嘩中場に外出せしが例のおシゲは悔さの餘り家を飛び出でんと思ひ種々考案中フト氣のつきしは其前日某所より銀五百四十六圓餘の金を受取り金庫に入れあるを思ひ出し大膽にも該金庫の鍵を捻じ切り殘らず掻き浚へて何處へか姿を隱せしに神ならぬ亭主はかくとも知らず午後六時頃會議も終て歸宅せしに女房シゲの見當らざるに雇人に聞きたるも不得要領の返事に首々傾けて思案中或は逃げ失せしにあらざるやと第一に金庫を改めたるにコはそも如何に堅く鎖さし置きし金庫は容易に開きたるに不審の眉を潜め何は兎も角內部を改め見たるに豫て入れ置きありし前記の金員一厘も殘らず消え失せしに扨ては阿魔にせしめられたかと無念の齒咬みをなしたれど跡のお祭り如何とも詮術なく今は八方に手別けしシゲの行衛を搜索中なりと云ふ油斷のならぬ世の中なり

●人か鬼か(鐵嶺)　つい此頃まで西門外に音羽家と云ふは相應に別嬪も抱へ一寸繁盛して居たがどうした風の吹き廻しか近頃は一日一日と不景氣となりて立つに暮されぬ始末となり先日より南門外の市場附近に支那人と相住居して居れる主人夫婦は根が生れ故郷を踏み倒し夜逃げして渡滿せし程の大膽物とて今に一人居殘り居る渡邊キマ廿二と云へる女が病魔に犯され呻吟し居るにもかゝわらず藥も與えねば三度の粥も鎌々食はせぬ始末に病氣に益々重くなるばかしまして今日此頃は泣きはらしたるためか眼病さへ加はりて此儘には打過ぎなば失明するやも計れざるに一向に頓着なきのみか返りて口汚なく罵り立つるに物事知らぬ支那人さへ主人夫婦の無情を嘲り居るとは扨もさても人か鬼かよも人間ではあるまい

●二百餘圓を拐帶す　奉天岡村洋行の若者川本某は去る六日主家の金二百餘圓を拐帶し穗積館の玉子と云ふ抜天女郎に百圓餘の金をふませ手に手を取りて浦鹽差て隨徳寺をきめてみたるよしなるが不日御用の聲と共にギヤツクリするであらうと噂取りとり

▲壁耳さん十一日、平野町の久吉の事は彼れは只藝妓のみにて外に男はないでしようが警務課の横手の人は何とも云へません(耳子)▲今般基督敎青年會が設立される相なが矢張り內地と同じくラブ神聖て戀に泣く者慰め戀のブローカーをなされるのですか妾は今戀に泣き非常に煩悶して居ますが何卒早く助命して下さい(春子)▲春濃君午狗郎君其他の俳句會贊成者當社むらさき宛御姓名御通知下さい(記者の一人)▲醉月と翁亭の橫へ裕長客棧と云ふ大きな看板を道の兩側より鳥居形に建てたが道幅の狹いのに往來の不便になる故直ちに御除きを命せられたい(美觀生)▲新二葉の仲○君貴君の友君の內年老たる○○さんは生意氣で其上傳兵衛的で困まるちと敎育してやり給へ(忠告者)▲元神廟街旭館の看板には洋食の切り賣と書き流し又長崎屋旅館の突き出し看板にはホタプルウナガサキヤとある兩者とも好しくない書き直すがよい(春濃)▲營口のラムネは製造後十日も十二日にもなるのを平氣で賣てる御注意〳〵(半病子)▲は困ります(役所小僧)▲元神廟の近くの床屋は店も隨分繁昌し內の構造も奇麗で看板も能く出來て實に立派だが其端に獄門が揚て居るチャンの獄門は何ともないが日本人のは感心せぬ(通者)▲電話局へ私は春早きに料金を收めましたが今に電話を架設されぬ外の事より早くして下さい(希望生)▲本紙の讀者中に李俊の宅で見受た露助の十五柵空砲彈を御所持の方はないでしようか相當の價にて讓り受たけいですが(愛珍生)▲新聞紙に馬賊の事を騷々しゝ書きたてるのは恰も憶病者に幽靈の話をするのと同じであらう(春濃)▲其筋に御願申す賣藥行商をちと御取締下さい(松月生)▲齊藤留君に御尋ね申す消防組の提灯は買物に行き又は其他自己の爲に用ゆべきものですか(天下公論生)▲永世街大通の一六銀行の婦は實に無禮な奴だ一寸一六どん注意なさい(一七)▲有情の女史よ君は恐らく趣味を解し趣味を見出す力に缺けるではあるまいか又營口には君の云ふ如き不人情な動物ばかりも居まいから安心し給へ(春濃生)

●お絹死す　長田秋濤子の名と共に初めは娟名東京芝の山內に喧しく後には艷容浪華の浦を噪がした秋浪子事彼の紅葉館のお絹は今春から肺を患ひ京都の客舍に靜養して日角にやつるゝ鏡の影を悲しんだか去る三日遂に死去したと云ふ事銀杏の葉だに黄には染まぬ此頃餘りに早い秋風ではないか

### 俗歌壇

醉雨子

○一寸しぐれの傘さへ赤縄まして相乘りする俥

○待つ夜の長さを一尺なりとつめて足したい逢ふた夜半

○淺いと恨んだ日がうらめしい深いなさけが身を責めて

(投書を歡迎す)


## 廣告

●印判彫刻 ●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉 ●インキ 附屬品一式

各位ノ御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇着候に付分に設立と同時に一層勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候に多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候

刻字舖　營口永世街三十七号 尾崎洋行　奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

◉煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行 煉瓦製造部 (電話九十番)

滿洲第一 湯崗溫泉
風景佳絶、旅舘、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○大石橋○海城○湯崗溫泉全停車場○遼陽○奉天

第二艦隊將校團へ寄贈品 寄附金者芳名追加
一金三圓也 大原國子
仝三圓也 長崎梅子
仝二圓也 三野米子
仝二圓也 田中トク子
仝二圓也 飯塚サノ子
仝二圓也 安藤ソノ子
仝一圓五十錢也 志田マス子
仝一圓也 富永ツモ子
仝一圓也 岸マサ子
營口本願寺出張所內 營口佛教婦人會

追悼法會
本會通常會員植木菊枝子殿去る十二日死去せられ候に付本會々則に依り來る十九日午後一時(營口時間)當所に靈牌を安置なし尤も鄭重に追悼法會相營み候間會員一同御繰合の上御參詣御燒香被成下度此段廣告仕候也
明治三十九年八月十五日
營口本願寺出張所內 營口佛教婦人會

淡谷木局
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知諱此廣告
東青堆子橋南 淡谷木局

歐米各國最新流行形 西海洋服店 (電話二百十七號) 街區一四一(赤病院三軒目)

盛海洋行
玻璃 玻璃器 洋燈
營口永世街

靴製造并に修理
右安價と以て確實御速に調製可仕候御注文ハ御一報ヘ願上候也
營口元神廟街郵便局前 桑田靴店

會席料理 營口警務課前南江入る 三日月

近江病院 永世街二本町
院長 近江周友
副院長 増田八郎
內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門
午前宅診 午後往診
入院治療を諾す
但輕便入院法あり來談を乞ふ

法學士 辯護士 値賀連
大連大山通二丁目三十一番地
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二 (金城舘ノ南隣)

旅館 料理 技桑館 奉天大西關
今度室內に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戯場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候


## 社告

### 一週年 大福引會豫告

今回本紙創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ると致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計(大賞堂保險附) 一個
二等 貴婦人用帶地(白木屋吳服店) 一筋
三等 純金指環(大西白牡丹製) 一個
四等 上等洋傘 一本
五等 縮緬兵兒帶 一筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランネル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債券 壹枚
九等 卷煙草入 壹個
十等 言海 壹部
(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ケ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品
▲白米 一俵 第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁 金城館
▲手拭 十反 日本館
▲エジプト紙卷莨五箱 第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋 奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個 醉月園
▲玉突券五十枚 第二軒
▲平野水四ダース二箱 東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱 三日月樓
▲澤庵積一樽 公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース 東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース 大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱 萬直し
▲上等西洋料理券三枚 牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着 富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚 祇園閣
▲置ランプ三個 三友洋行
▲吳服券三枚「五圓、三圓、二圓」玉井洋行

滿洲日報社

諸毒下し **毒掃丸** 一名一ヶ月丸

梅毒そう毒、しつ毒胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ頭顔頭手足に腫物生し困難する人一日も早くためし見よ

軽症ハ二週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市 山崎帝國堂大藥房製劑 **毒掃丸**

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、痔瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一憾若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●定價四日份 三角
●一禮拜份 五角

總經理批發 營口永世街(司法部前) **回天堂三木大藥房** (電話百九十番)

---

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等 **麥酒スペシャルライト**

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 **大日本麥酒株式會社**

滿洲一手販賣店 營口元神廟街 **關東公司雜貨部** (電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 **關東洋行**

---

---

**ペンキ塗請負 京阪組**

營口豊濟門街三十一號

臨時出張所 鐵嶺正金工場内 新民屯泰東公司内

---

營口 西北街 **裕和盛**

雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣

大連 南洋 湖北 彩票 販賣

鑵詰 紙 化粧品 特ニ安賣

東清鐵道 遼河 貨物運送

電話

---

御料理旅館 **三河樓支店**

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

---

**祝開業一週年**

弊亭開業一週年の祝意を表し豫て福引御料理を差上申居候處不斗も各位の御好に相叶ひ非常の御愛顧を蒙り千萬難有御禮申上候就ては華客様の御勸めに從ひ猶本十五日まで延致し更に御の藝妓をも相加へ殊に時節柄御料理一層注意仕且つ板場は生粋の江戸庖丁の切味御賞翫下され度續々御來の程伏て願上候

**福引會席御料理 壹圓**

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
二月 會席五品 御酒一本
三月 會席五品 ビール一本
四月 會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一
五月 會席五品 ビール一本
六月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間
七月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
八月 會席五品 ビール一本
九月 會席五品 御酒一本
十月 會席五品 ビール一本
十一月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
十二月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間

月 日

營口豊濟門街 **柳亭**

**祝開業一週年**

---

**開業御披露廣告**

遼陽城外西門外街西へ入 和洋御料理 **遠山館**

今回各様方の御勸により遲れ馳に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決して遲れぬ様にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の専用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來舘の上御試し被下度奉希候以上敬白

---

旅館 御料理 **扶桑館**

奉天大西関大什字街第五分局千〇六十八号

館主 堀田ハル

電話 号

---

改名 **業務擴張廣告**

御料理旅館 元吐月改め **東來館**

遼陽陳家街破水弓より東へ入る右側

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉強可仕殊に御料理は輕便を旨とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

---

**遼陽兵站業務取扱所御指定旅館**

遼陽城外喇嘛塔下 遼塔ホテル
全城内東街 遼東館
全城内西街 滿洲ホテル
全城外喇嘛塔側 浩氣館
全城外西門外通 藝陽亭
全 上 遼陽館
全城内東街 東洋館
全城内北街 滿洲館
全城外西門外通 梅廼家

---

**廣告**

今般同業者一同協議の上自今左記麥酒は總て現金取引に相定め候間左樣御承知願上候也

(イロハ順)

朝日ビール 糸平公司
スペシャルライト 關東公司
札幌ビール 加藤洋行
朝日ビール 裕和盛
朝日ビール 松茂洋行
惠比須ビール 盛進商行

---

**新荷着**

裝飾用鑵 洋食用品 肉刺器 卅六種 以下種々
手提金庫 用ビーツコ附屬品
窓掛及附屬品
夏帽子各種
戸田式濾水器
宇治新茶
ワイシヤツ及カラー
學校用文房具各種
各種複寫簿

關東公司雜貨部 (電話五番)

---

御旅館 **旭ホテル**

家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差閊なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街 (電話二三五)

---

料理店 **滿月** 平野町(電話一六二)

**滿月支店** 平野町入口 店主 青木勝惠

---

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜類

ラムネ、橀柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及橀柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街 **林洋行**

---

**病室增築輕便入院**

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く専門の功果を収とす

○全身魔醉○局處魔醉○最新器械○無痛手術○

梅毒婦人科 外科胃腸病 専門 **日本醫院**

---

新荷着 **札幌ビール** 加藤洋行

---

**牛莊松岡病院**

内科 外科 眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は最新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟前第百三十四號

全科醫士 **松岡玄雄** (電話一五一番)

## 宮門抄

二十日　工部　鴻臚寺　正藍旗值日　無引見
召見軍機　松壽

## 奏議

外務部商部奏議覆華洋商合辦礦務合同摺

奏爲遵旨會議具奏事光緒三十二年五月初六日准軍機處鈔交熱河都統廷杰核明華洋合辦霍家地等處金礦原訂合同並另議附約以昭詳愼一摺奉硃批該部議奏單併發欽此欽遵鈔交到部查原奏內稱華商王紹林洋商伊德等合辦霍家地等處礦務一案前據呈送合同經前任都統松壽咨部在案嗣准外務部咨開該商等業經訂立合同應仍由熱河都統奏明辦理等因查原訂合同內所有集股分利招工購地各事宜雖經分項註明與部章尙無違背然語意究多含混因將合同內語意含混之處分別摘出飭該商等另議附約三條以發明原訂合同之所未備當經遵飭議呈以爲存據合將所議附約繕呈　御覽各等語臣等伏查華洋商合辦礦務其原訂合同必須詳審設令稍有含混毎致侵越權限糾葛滋多此案華商王紹林洋商伊德請辦霍家地等處礦務經前都統色楞額奏經外務部議覆所有集股分利招工購地各事宜在在均關緊要必須參酌合同始能定議嗣准前任都統松壽將原訂合同咨送到部復經外務部咨覆仍應由熱河都統奏明辦理以符原案茲據該都統奏稱飭將合同內語意含混之處另議附約三條以發明原訂合同之所未備查附約第一條所開如續招股銀須華洋各半收取課銀由都統派員監收礦工概用華人佔用民地不得擅用壓力第三條所開無意中採有別種礦質祇准在批准界內開辦各等語皆爲原訂合同之所未詳防閑自較周密惟第二條內開原訂合同所指六處礦地除霍家地一處外其餘有城子山王家杖子五台山白山吐柴八爛子五處如推廣開辦須遵部章稟請執照等語查王紹林稟請原案祇請開辦霍家地暨城子山王家杖子三處礦地嗣經前任都統色楞額奏該員照華洋合辦之例與洋商伊德簽訂合同推廣至五台山等三處業經外務部奏明核與原案不符現在核訂合同自應仍照原案准辦霍家地等地等三處此外不得預爲指定礦地多處致滋弊混至霍家地一處既經前任都統發給執照准其開辦應由熱河都統即將該礦佔地詳細里數四至界限繪圖送部査核飭令取具保單照費換領部照以符定章其城子山王家杖子二處將來如推廣開辦應即一切遵照商部奏定礦章呈候核准由部頒領執照再行開辦仍照熱河都統原定附約二年內如不開辦即作罷議如有他商請辦該公司不得干預又原合同第六條所指各礦必須由官發給執照應改爲呈明都統咨請商部發給執照方准開辦第七條不得私將執照轉賣他人一節應照商部礦章改爲如欲將執照轉授他商具禀商部聽候准駁倘私相授受一經商部覺察即將礦照撤銷礦產入官第八條常年課銀認交一千兩礦產出井之金按值百抽六銀按值百抽十完納改爲礦產出井金銀均按值百抽八呈交課款應井口税其出口之税仍遵海關税則照章交納査原訂各節雖係按照熱河礦務章程辦理惟現定部章礦產出井税金銀均值百抽十自應改歸一律熱河原議每年認交課銀一千兩應予刪除先交之銀並准抵完礦税第十二條日後如各國欽使與中國國家定立各項礦務新章亦應援章辦理應改爲日後中國國家定立各項礦務新章該公司亦應遵照辦理第十七條修造枝路以便運銷礦產應照商部礦務章程改爲轉運礦產欲造小枝鐵路應查明相距水口是否在十里以內與該處地方有無窒礙稟候商部核奪若程途在十里以外者應另案辦理並於第十七條後添叙一條聲明此項合同未經該載各事概照商部奏定礦務章程辦理以上各節應請　飭下熱河都統轉飭該商等遵將原訂合同並此次附約重加釐訂咨部核定再行畫押以重礦政所有遵議華洋商合辦熱河霍家地等處礦務緣由謹恭摺具陳伏乞
皇太后　皇上聖鑒再此摺係商部主稿會同外務部辦理合併聲明謹　奏奉
旨依議欽此

## 中外要聞

●俄獨佔北滿航權問題　日本報章云日俄兩國於和約內申明南北滿洲同時開埠故日本如開放南滿洲則俄國應即將北滿洲一律開放然據俄國來電云俄國雖不阻撓北滿洲之開埠然欲把握黑龍松花兩江航權以獨佔商務之利蓋黑龍松花兩江係北滿洲交通要路便於舟楫商旅之往來貨物之銷運多假其利便如俄國獨佔此項航權不允他國之通船舶則各國曷得與俄國爭商務之利是有開放之名而無開放之實也故各國均注目俄國如何辦理該兩江航權日本政府亦擬與俄國磋商令俄開放該兩江以副條約然而此問題尤與中國有關未悉我政府諸公如何對付也

●日督之涉外交權　從來遼東半島租界以及東清鐵路兩旁凡中日交涉事宜由駐華日使與中國外部直接辦理然此等地方因屬關東都督管轄每遇交涉必由駐華日使辦理不免頗有不便之處故日本政府決計特委以外交權于都督府凡此等地方所有一切中日交涉事宜由都督府代爲辦理歸外務大臣節制云

●請募兵剿馬匪　近來奉省馬匪勢復猖獗商旅居民不能安枕各商務大受影響蓋勦撫馬匪保護人民實奉省當務之急也況馬匪跳梁動滋交涉聞有某侍御因此事遞一封奏略云奉省兵力單弱軍需未備遇馬匪滋擾萬難得手請嚴飭趙將軍趕速招募壯丁養成勁旅以資鎭攝如任馬匪滋擾不速設法剿辦則兇燄日長以致流弊不可勝計云云政府頗韙之刻已轉飭趙次帥酌辦矣

●法商請購鑛砂展限　法國商人亨達利與湖南鑛務公司訂立合同包買該鑛銻砂現期展已滿而法商仍堅請再行展期湘公司不允聞法商運動駐京公使向外部交涉外部已電湘撫查核咨覆辦理云

●美提督作古　美國東洋水師提督德列尹將軍近來患病在烟台調治藥石無效於西八月初四日奄然逝世

●塔城電請撥款　塔爾巴哈台辦事大臣安成電奏爲塔城每年應需滿營八旗左右練軍蒙漢馬隊額魯特營綏靖中右馬步兩旗開花砲隊沿邊卡倫修理洋砲軍械共需款三十萬六千餘兩況又添設吉木奈卅俄交涉局創辦清源巡警局在在需款無可再減伏祈飭部照數指撥以濟急需

●江督電覆立憲意見　江督周玉帥上年電奏提倡立憲已爲世人所共知也此次端戴兩大臣考察已畢在滬時即電周督籌議要政江督覆電云支電欣慰馥未能迎候領教愧歉之至大家盼諸公節旋嘉謨入告將更張數要事漸立基礎馥所慮者樞部採擇定案而疆吏力不能行紳民反對徒增一番勞擾耳能先使內外官紳同議或免來阻力至應辦之事甚多惟財政困絀應先設法治民之官事繁人少且多有名無實亦應詳議其餘興學設巡振興工商諸事必須誘掖提倡徒用壓力擠迫必難奏效至練兵尤爲要政似宜量力漸進如全注力於此使他事廢弛亦非算覆謂立憲非礙主權須使士權益尊中國本有憲法參仿而行取益防損有何不可若仍彈古調不思改絃更張恐望愈難杞憂更切妄瀆聊備採擇馥微

●安徽銅鑛交涉　皖電云銅陵縣銅官山銅鑛與英商交涉尙未了結英鑛師現駐該山附近督工試挖仍未停工

●磋商厦門賠欵　厦門英領事索賠同客受傷洋人養傷鉅欵一節前月杪厦道照覆係援數年前福州府屬古田縣戕害英國教堂男女五人當時地方官僅搜獲兇手十三人正法抵償外別無再索賠欵惟該教堂有一女姑娘受傷另償恤銀千餘元以此例比斷難賠償鉅欵云云英領事自接此照覆後尙無動靜

●皖路彩票開彩　督辦皖省鐵路大臣李京卿以鐵路需欵甚多一時難於籌劃特奏辦鉄路彩票一切均按湖北籤捐票辦理得彩者即可取洋不得者即可更換鐵路股票並不作廢現在第一次開彩日期准以湖北票七月份號單爲憑亦籌欵之良法也

●砲艦行進水式　日本砲艦伏見號刻已工程告竣舉行進水之典按該艦係爲在長江流域保護商務也

●中國提學使一行抵東京　中國提學使一行現已來東京聞小作勾留約三閱月以考察敎育情形

●俄黨之搶掠案稿　俄國塞巴斯杜堡埠革命党員等於禮拜二日在軍法會議所亂鳴警鐘所有壯丁一時擠集恃勢擅將艦隊關於謀叛之案稿搶掠而去聞海軍小佐斯基密杜一案亦被搶云

●義艦長之不義　義國商輪西里窩號生存之搭客等均駁詰船長及船員所爲云船長猝見事急先躍身搭坐小艇船員水夫等亦聞警耗均登小艇搭客之不免災良有以也

●美劃地供日人開墾　美國窩達瓦洲消息云於亞爾敞爾達之野區劃地畝十萬頃俟日本人移住墾荒開田以便殖民云

●英抽華工稅　英領紐法文杜蘭島（在美國）政廳決計出示曉諭對於華工入境每一人抽稅二百元

●俄不意於首省　俄首相斯杜里平施設事宜俄廷視爲失計頗爲抱歉因尼古拉斯大公爵統制軍務益不滿意云

●俄首相之失望　俄國新簡首相斯杜里平籌劃與平和自由党聯絡令其領袖和衷協濟以翼襄廟謨一事竟不見

●俄大臣之矇蔽　俄國海部尙書矇蔽聖聰所有海軍不靖情形壅於上聞咎實難免或當辭職

●俄國罷業鎭靖　俄國於禮拜日國內頗形平靖前聞全國工匠同盟罷業一節竟因彈壓未致滋事

●懲辦滋擾之兵員　俄國克倫斯達土埠將滋擾兵員三百名按律懲辦

●移議日俄航業商條約　日俄兩國現擬訂立航業及商務條約已移交俄京會商妥議辦法

●民政黨領袖被刺斃命　俄國立憲民政党領袖費爾賢斯大猝被刺斃

●俄官軍與叛兵戰　俄國官軍與謀叛兵員於斯威堡克正在激鬭

●俄皇擬親閱兵　俄皇擬親閱羅斯納塞斯羅兵營

## 雜報

●災雹毀稼　昨由東城來人云前者北風其涼至二日許東邊寬甸縣界陰雲密布寒氣逼人天降氷雹三日之間適有三次每次皆經時許其大者若銀杏中者若楊梅小者若珠璣米豆參差不齊蓋地約四寸深霽後經本處農民調查計東西寬約七八里南北延長不計里數凡有稼禾菜蔬及織草樹葉俱若薤粉矣斯誠非常之災異云

●更正訛傳　前日本報登載北京來人傳云廷觀察浦雲業向甘肅嗚嚬上道而未經接篆有復被撤回之信聞之者甚爲惋惜昨日聞有官場人云此事殊屬訛傳且未有無上諭明文而方面大員即可隨便撤回之例若是乎殆傳聞失實耶抑有人故造謠言耶故急爲更正以釋閱之疑團云

●宵過飛蝗　昨聞埠民傳云前數日夜分十句鐘時本處居民多有未滅燭就寢者於時窗外燈光正在閃燿之際輒訝稿紗響若洒雨急出視之則見飛蝗密布蔽翼寥窆宛若雲翳由北南度至十一點後方覺盡向有光處飛入人室者或有好事之人捉而貯之甌瓶幾滿者其少有遺落野地者次晝尙飛入人家屋壁捉而視之細審其狀雖亦頗類蝗蟲而大小不等大者長有寸餘小者間有六七分四五分者未卜該蝗南向何處想飛蝗既多自必傷食禾稼春秋書蝗旱有蝗者數四蓋蟊賊螟蝗亦天災流行之一端云

## 笑林

●水龍　今人謂救火器爲水龍非也按水龍字他書無考惟隋梁睿請伐陳文帝答詔曰陳國來朝未盡藩節如公大略誠須責罪必興師旅若命水龍終當相屈是昔人以水龍爲戰艦然近日新製以皮袋吸水噴溢則頗似於龍其謂爲龍也亦宜

●擔糞小厮　巨室女公子長夏曉起侍兒新調蔻苡熟浸以水未遽食也階間墮蛛螫如錢適中盂値擔糞小厮過廊下女呼與食小厮榮女賜一啜遂盡女竊笑其食穢而甘也不禁粲然小厮益惶惑疑女屬意歸遂苦思成疾疾篤告父母父母無計私告婢僕微達女聞女聞怒旣而悟其旨笑曰是疾也吾能療之可命其來父母歸告小厮竊幸事可爲也翌朝昇小厮至女搴簾遙罵曰賤骨頭不自揣測妄冀附龍鳳曩時賜汝食之不潔比於飼犬豕耳乃遂見我於糞耶前批其頰小厮絕想疾遂瘥　涵秋氏曰小厮亦有志士也雖不得當不害其爲上達之心使其爲佐牧必有以詔獲罪者矣然迷而易醒固勝終身論陷者女公子纖葱五指可當春雷　聲耳

營口票莊協成乾執事人翟子安首次代勸國民捐數目清單

計開

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協成乾 | 三十元 | 晉太豐聯衆 | 二十元 |
| 晉太豐 | 二十元 | 合盛元 | 二十元 |
| 永和成 | 二十元 | 大德玉 | 二十元 |
| 世興厚 | 十元 | 楊起祥 | 十元 |
| 姜潤齋 | 十元 | 晉源湧 | 十元 |
| 翟子安 | 五元 | 孫煥詔 | 五元 |
| 蕭瀛洲 | 五元 | 趙理堂 | 五元 |
| 力東海 | 五元 | 復慶公 | 五元 |
| 大德祥 | 五元 | 麗少卿 | 四元 |
| 王耿光 | 四元 | 石子祥 | 三元 |
| 楊仲模 | 四元 | 喬永績 | 三元 |
| 王溥泉 | 二元 | 于翰臣 | 二元 |
| 李文貴 | 二元 | 王廷佑 | 二元 |
| 常吉人 | 二元 | 張御卿 | 二元 |
| 李茂然 | 二元 | 尹墨林 | 二元 |
| 王尙甲 | 一元 | 王立庭 | 一元 |
| 王德廣 | 一元 | 王殿卿 | 一元 |
| 柳世忠 | 一元 | 趙　祥 | 一元 |
| 李俊書 | 一元 | 蘇魁甫 | 一元 |
| 姚春元 | 一元 | 李翰臣 | 一元 |
| 吳　焙 | 一元 | 史鳳來 | 一元 |
| 劉敦倫 | 一元 | 柳春芳 | 一元 |
| 郝春元 | 一元 | 曲春如 | 一元 |
| 劉秀亭 | 一元 | 張進萬 | 一元 |
| 劉咸茂 | 一元 | 趙世功 | 一元 |

以上五拾名共捐小洋貳百五拾九元

營口市價
豆粕　十個　豆油　麥粉　大米
綿花相場　九龍　百斤　西京　全
爲換相場（正金銀行）
內地向　上海向　天津向　五日の一兩は　軍票一圓　金一圓
●元神廟角力の相撲　昨日の勝負左の如し
大江山　中入後　松ヶ枝　鳴戸岩
八幡山　碇野　鶴の森　松ヶ枝　紀國山　小松山　照日山
鶴ヶ嶽　鷲ヶ濱　手柄山　鳴戸岩　大江山　猪王山

昨日の氣温　最高温度八十一度八　最低温度六十三度一　昨年より　低七度二　高八度二

東清鐵道 [illegible]

## 營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號（營口ホテル）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一七六番、四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理並に氷いろ〳〵 翁亭 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 弓山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門外第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一二三四 店主 末松信太郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

## 奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野常吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大什字街へ入 温泉村大勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店 日章館（電話□）

奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西關大巷路北（電話二十五番）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を業に專ら御客様の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰌井鯰蒲燒）等をも新調且つ仕出等致し御中食には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御下命の程偏に奉願候

和洋高等御料理 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話□號

諸鐵工製作 鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般 營口ブツシ商會綏定門街東 喜川鐵工所

和洋會席 御料理 一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候 營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位様

## 料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

四方各位益々御清榮奉賀候陳者弊店儀夙に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし候つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來衛街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する様大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に御待牛と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁右之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

遼陽城內西街 御料理 盛進館 雜貨 井川商會 店主 北ツネ

和洋 御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部 奉天城內大南門裡大街（電話十五番） 麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷卸小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄
一末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣 營口永世街 喜久洋行（電話一五二）

○板材木 ○蚊張 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花莚 ○椅子テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○醋醬油 ○罐詰 ○其他雜貨色々
新荷着大安賣
㊂ 石光洋行 營口西北街 遼陽西門外 石光洋行支店

㊒ 土木建築請負 煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街 雜貨卸小賣 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

西洋料理

弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晩に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候はヽ割引仕候
牛莊ホテル（遼河々岸）

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

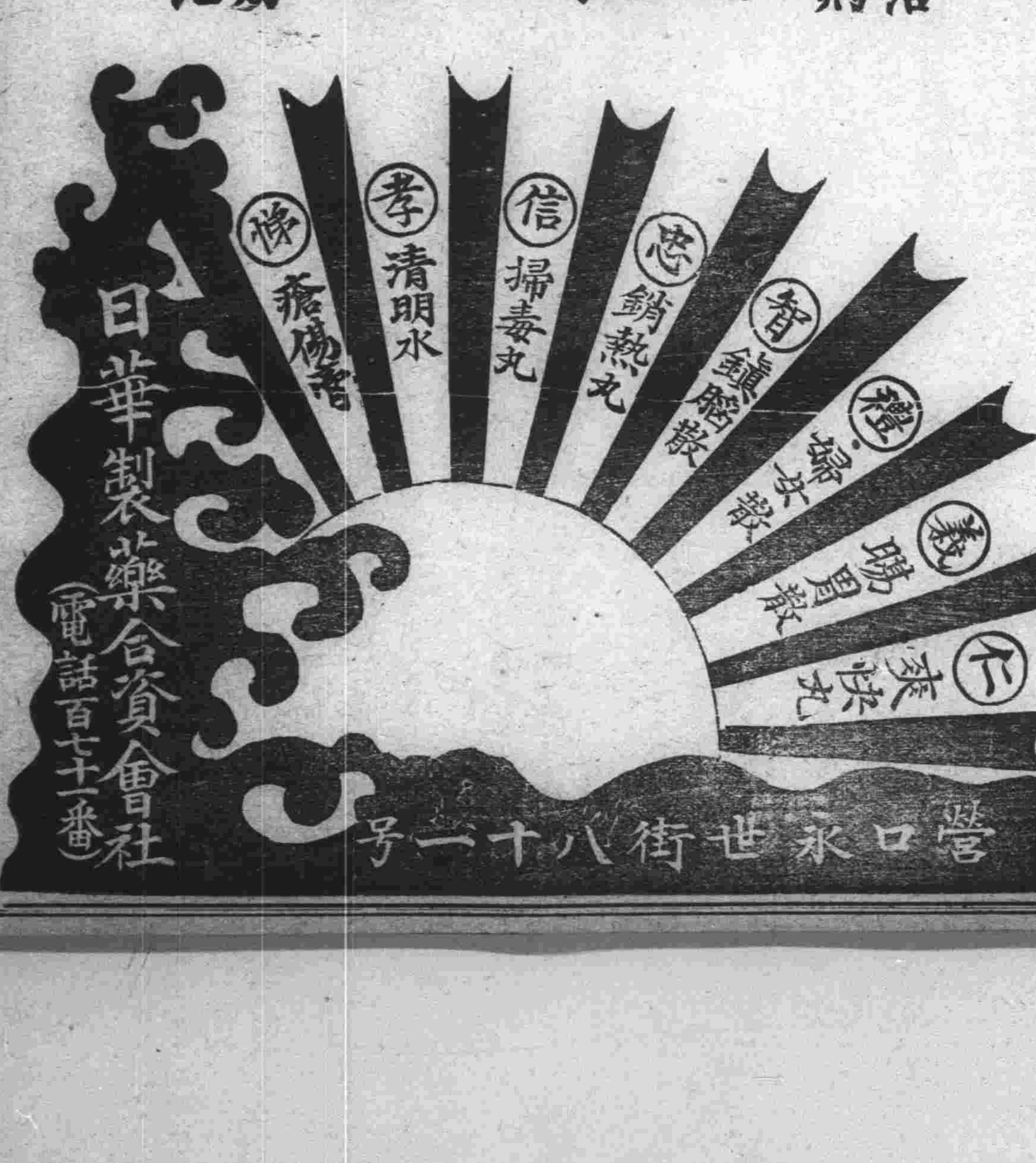
土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー 廉價販賣 營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部

恵比寿ビール 金升洋行 盛進商行

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子綏定門外 志岐組

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 船來品類 其外新荷着船來品精々大勉强販賣 遼陽西門外筋 北原洋行

醇良日本酒 サッポロビール 大販賣 和洋雜貨 洋酒化粧品 千賀洋行 奉天鐘樓南大路西 酒類 食料品 千賀洋行支店 奉天小西關大街路北 孔雀印平野水

石材 石灰 大販賣 英治洋行（營口西北街）（電話三二）

救治萬病 濟生八方 神効無比